



当センターの事業に関するご案内



進路相談会(後期)

進路についての情報や助言を得にくい状況にあるお子さんや保護者のみなさんに対して、具体的な進路情報の提供と個別相談を受け付け、適切な進路選択ができるよう応援します。

第4回 11月 6日(土) 立川会場

東京都多摩教育センター
JR南武線「西国立」駅下車徒歩10分
JR中央線「立川」駅下車徒歩20分
モノレール「柴崎体育館」駅下車徒歩15分

第5回 12月 4日(土) 水道橋会場

東京都教職員研修センター
JR総武線・都営地下鉄三田線
「水道橋」駅下車徒歩2分

第6回 1月22日(土) 水道橋会場

東京都教職員研修センター
JR総武線・都営地下鉄三田線
「水道橋」駅下車徒歩2分

チャレンジスクール5校 チャレンジ枠設置校1校

6校がそろいます

＝全体会＝＜都立高校からの説明＞ 10:00～12:20
**桐ヶ丘高校・世田谷泉高校・大江戸高校
六本木高校・椚ヶ丘高校・八王子拓真高校**
※チャレンジスクール、チャレンジ枠設置校による、各校の特色等についての説明。(高1四月入学希望者対象)
＝学校相談会＝＜参加6校による個別相談＞ 13:20～16:50
※1組10分程度を予定
(高1四月入学希望者及び転入学・編入学希望者対象)
＝個別相談会＝＜センター相談員による個別相談＞ 13:30～16:50
※1組30分程度を予定
(高1四月入学希望者及び転入学・編入学希望者対象)
※第4回、第5回の個別相談会では、中国語、英語、韓国・朝鮮語での対応も可能です。お申し込みの際に、御要望ください。

＝個別相談会＝ 10:00～16:50 全体会はありません
※1組30分程度を予定
(転入学・編入学希望者及び高1四月入学希望者対象)
※1学期補欠募集(転学・編入学)や高1四月入学について、入試直前の御相談を中心に個別相談のみ承ります。

★個別相談会への参加申込方法について(全体会・学校相談会へは事前申し込み不要です)

申込方法 ファクシミリ又は電話にてお申し込みください。
申込用紙は当センターのホームページに掲載しています。

・申込開始 9月 1日(水)開始
・申込締切 各回の3日前まで

外国人児童・生徒相談 受け付けています!

都内に在住、在勤、在学する子供にかかわる教育相談を外国語で実施しています。

<内容>

- ☆日本の学校制度に関すること
- ☆就学や都立高校への入学に関すること
- ☆学校での生活適応に関することなど

<対象言語>

中国語、英語、韓国・朝鮮語

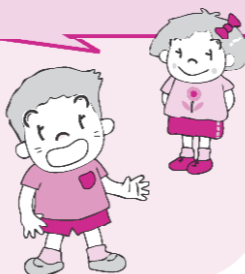
<相談対象年齢>

幼児から高校相当年齢
※電話による予約で、来所の相談も受け付けています。

你好!

안녕하세요!

Hello!



広報

すこやかさん

第27号
平成22年9月発行



東京都教育相談センター

http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-3

TEL 03-5800-8545(代表) FAX 03-5800-8402

子供との信頼・安心感を育むために

東京都教育相談センター 所長 柴崎 正次

■信頼・安心感を育むために

人は「信じてくれる人を信じる」ものです。当センターには、「友だちとのトラブルを誰にも相談できない。」や「勉強が分からない、友だちがいない。だから、学校へ行きたくない。」という相談があります。悩みをもつ子供にとって、自分のことを信じてくれる人が周りにいるということが大切です。「私は、信じてもらえている。」という子供との関係を作るためには、まず、子供を信じてあげることが出発となります。秘密を守ることや約束を守ること、そして、事あるごとに「先生はあなたを気にかけているよ」というメッセージを伝えていくことが、子供との信頼関係を強固なものとし、同時に子供に確かな安心感を育みます。

■子供の変化に気付きましょう

日々、子供たちは様々な経験をとらえて成長していきます。それに伴って、身なりや言葉遣い、好みなど子供の様子も変化していきます。長期休業後は、子供の変化が多くみられる時期です。夏休みの水泳教室で目標としていた級まで泳げるようになった子供、部活動の練習に励んだ子供、進学に向けての夏の講習会に一生懸命出席した子供、教師はこのような機会をとらえて、言葉がけをしていくことが大切です。その反面、言葉遣いが乱暴になったり、宿題を忘れてたり、服装が乱れるなど、表面に出てくる変化がある場合もあります。また、言葉の数が少なくなったり、一人でいることが多くなるなど、気が付きにくい変化もあります。このような一人一人の子供の気持ちを受け止めていくには、ささいな変化に気が付くことが大切です。

■変化に気が付いたら

「子供の変化に気付く」これは、その子供の内面に何かあったということは、言うまでもありません。その時、一人の人格をもった子供として、認めながら、その子供の状況に合わせて対応していきます。

- ・言葉をかける
- ・励ます
- ・共に行動する
- ・見守る 等

子供が、「いつも先生は見てくれている。」という関係をつくりましょう。ただし、子供がやってはいけないことをしたとき、きちんと指導することも大切です。

■教員間及び保護者との連携を基本に

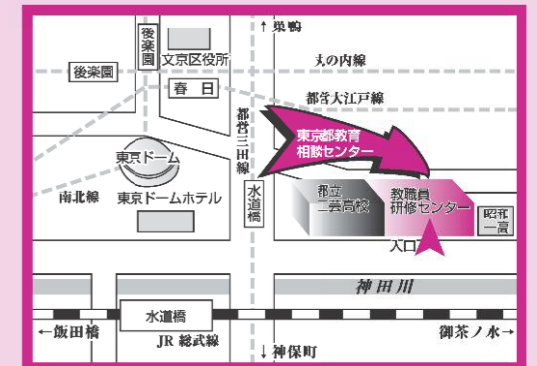
担任から見て、子供の変化がなかなか見られない場合でも、保護者や他の教員が気付くこともあります。そのようなことから、教員同士の情報共有の場を定期的に設定することが、子供の変化に気付くためには有効です。また、保護者との連絡は、子供の変化を早期に発見するばかりではなく、保護者との信頼関係を確立することにもなります。学校と家庭で見せる子供の姿が違います。そのような情報を日常から保護者と連絡し合うことで、子供の変化に素早く気付く、どのような対応が、その子供にとってよいのかが見えてくるのではないのでしょうか。

今号は、「子供の変化への対応」について、目的に応じた書き方の視点を紹介します。

相談のご案内

受付電話番号 03-5800-8008

- 電話相談/平日 午前9時から午後9時まで
土日祝 午前9時から午後5時まで(年末年始等を除く)
*上記以外及び閉庁日は、留守番電話及び電子メールによる対応をしています。メールは、ホームページから入れます。
<ホームページ> <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
- いじめ相談ホットライン/24時間対応 03(5800)8288
- 来所相談/平日 午前9時から午後5時まで
*電話でお申し込みください。
*立川出張相談室(立川市錦町6-3-1)においても応じています。
- 所在地/〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-3



JR総武線・都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩2分
東京都教職員研修センター内

子供の変化に気付いたら… 目的に応じた3つのきき方

訊く ask

「訊く」とは、「事実」にきちんと向き合うために、事実関係をはっきりさせるための訊き方です。

明らかにルール違反であったり、誤った行為をしている時、先入観や憶測で決め付けないようにするために必要です。

気持ちを受容することと誤った行為を見逃すことは違います。誤った行為を見つけた時には、その子供のためにも、きちんと向き合わなくてはなりません。

聞く hear

「聞く」とは、「聞こえてくること」に注意を向けたり、それとなく周囲から情報収集をするための聞き方です。

広くアンテナを張り、サインを捉え、自分だけの一面的な理解に陥らないようにするために大切なことです。

子供たちは場面や相手によって見せる姿が違います。他の教員やクラスメイトに聞いてみることで、子供理解が多面的・多角的になります。

聴く listen

「聴く」とは、態度・表情・言葉の裏に隠されている子供の本当の気持ちを受け止めるための聴き方です。

子供自身が自らを振り返り、自らの力で成長することを促進させようとするためには欠かせません。

子供は、自分の気持ちを受け止め、自分の存在を認めてくれる人に対しては、心を開き、アドバイスも心にとどめておくことができます。

子供理解

子供たちは、日々様々な思いを抱きながらも自己実現に向けて試行錯誤を繰り返します。

時には誤った行為をしたり、反動的にもなります。また、落ち込み、元気のない姿を見せることもあります。決して一様の姿を見せているわけではありません。

このような子供たちに向き合う時、左の3つのきき方を上手に組み合わせることで、子供理解を深め、適切な指導を行うことができます。

子供の心を受け止めよう

最初から心を開いて話す子供は、あまり多くはありません。言葉にする前に表情や行動に表れることが一般的です。「アレ？」という行動を目にした時には、声かけをしたり、周囲にそれとなく聞いてみたりして、気を付けて様子を見守りましょう。そして、「君をいつも気にかけているよ。見ているよ。」ということ子供にさりげなく伝えます。誤った行為をしたら、その事実を毅然と注意することは当然ですが、「どうしてそうせざるを得なかったのか」その行動の意味するところを考えながら対応することが大切です。

※「訊く」は常用漢字ではありませんが、違いをはっきりさせるために使用しました。